



Red Hat build of Node.js 12

Node.js 12 リリースノート

Node.js 12.16.1 で使用する場合

Red Hat build of Node.js 12 Node.js 12 リリースノート

Node.js 12.16.1 で使用する場合

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2021 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Release_Notes_for_Node.js_12.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本リリースノートには、Node.js 12.16.1 に関する重要な情報が含まれています。

目次

第1章 必要なインフラストラクチャーコンポーネントのバージョン	3
第2章 機能	4
2.1. 新機能および変更機能	4
2.1.1. IBM Z での Node.js Runtime のサポート	4
2.1.2. IBM Z インフラストラクチャーでプロビジョニングされた OpenShift へのサンプルアプリケーションのデプロイ	4
2.2. 非推奨の機能	4
2.3. テクノロジープレビュー	5
2.3.1. Node.js の Red Hat ビルド用のサーキットブレーカーパターン Opossum	5
2.4. サポートされているアーキテクチャー	5
第3章 リリースコンポーネント	6
第4章 修正された問題	7
第5章 既知の問題	8
第6章 必要なインフラストラクチャーコンポーネントに影響する既知の問題	9
第7章 本リリースに関連するアドバイザリー	10

第1章 必要なインフラストラクチャーコンポーネントのバージョン

Red Hat は、サポートされているコンポーネントとして明示的に指定されたコンポーネントを除き、以下に示すコンポーネントのサポートは提供していません。

コンポーネント名	バージョン
Nodeshift	2.1.1
NPM 6 ^[a]	6.4.1
OpenShift Container Platform(OCP) ^[b]	3.11, 4.5
Minishift	1.34.2 以降
CDK ^[c]	3.11.0
git	2.0 以降
OC コマンドラインツール	3.11 以降 ^[d]

[a] Node.js 12 でサポートされる RPM として配布

[b] OCP は Red Hat によってサポートされます。

[c] CDK は Red Hat によってサポートされます。

[d] **oc** CLI ツールのバージョンは、使用している OCP のバージョンに対応する必要があります。

第2章 機能

本セクションでは、現行リリースで導入された機能の変更について説明します。

2.1. 新機能および変更機能

Red Hat Enterprise Linux 8.1 には Node.js 12 のリリースが含まれており、Node.js 10 に対する新機能および機能強化が数多く追加されました。以下は、主な変更点です。

- V8 エンジンがバージョン 7.4 にアップグレード
- 新しいデフォルト HTTP パーサー、llhttp (実験対象外になりました)
- ヒープダンプ生成の統合機能
- ECMAScript 2015(ES6)モジュールのサポート
- ネイティブモジュールのサポートの改善
- ワーカーレッドにフラグが必要なくなる
- 実験的な診断機能を新たに追加
- パフォーマンスの向上

Node.js 12.16.1 の詳細な変更は、アップストリームの [リリースノート](#) およびアップストリームの [ドキュメント](#) を参照してください。

2.1.1. IBM Z での Node.js Runtime のサポート

s390x プラットフォーム用の Node.js の Red Hat ビルドは、IBM Z インフラストラクチャーでプロビジョニングされる OpenShift 環境でのみサポートされます。IBM Z での RHEL のスタンドアロンインストールでの Node.js アプリケーションの実行はサポートされていません。

IBM Z でサポートされている製品の新しいイメージは、[Red Hat Container Catalog](#) で利用できます。

2.1.2. IBM Z インフラストラクチャーでプロビジョニングされた OpenShift へのサンプルアプリケーションのデプロイ

IBM Z インフラストラクチャーでプロビジョニングされる OpenShift 環境にサンプルアプリケーションをデプロイするには、**package.json** ファイルおよびコマンドに適切な IBM Z イメージ名を指定します。

このサンプルアプリケーションでは、ワークフローを実証するために Red Hat Data Grid などの他の製品も必要です。この場合、これらの製品のイメージ名を、サンプルアプリケーションの YAML ファイルの関連する IBM Z イメージ名に変更する必要があります。

Node.js の Secured サンプルアプリケーションには Red Hat SSO 7.3 が必要です。IBM Z では Red Hat SSO 7.3 に対応していないため、IBM Z では Secured の例は利用できません。

2.2. 非推奨の機能

本リリースでは非推奨になった機能はありません。

2.3. テクノロジープレビュー

2.3.1. Node.js の Red Hat ビルド用のサーキットブレーカーパターン Opossum

opossum は Node.js のサーキットブレーカーです。Node.js の Red Hat ビルドは、完全にサポートされている **@redhat/opossum** モジュールを提供します。

サーキットブレーカーパターンは、サービスが他のサービスを非同期的に呼び出すサービスアーキテクチャーにおけるネットワーク障害の影響やレイテンシーを低減するために使用されます。

@ **redhat/opossum** モジュール は、Red Hat カスタマーポータルレジストリーからダウンロードすることができます。@ **redhat** 名前空間を持つモジュールは **Red Hat** レジストリーからダウンロードする必要があります。その他のモジュールはすべて npm レジストリーからダウンロードする必要があります。ダウンロードパスを指定するには、以下のコードでアプリケーションのルートディレクトリーに **.npmrc** ファイルを作成します。

```
@redhat:registry=https://npm.registry.redhat.com
registry=https://registry.npmjs.org
```

ダウンロードパスを指定した後に、アプリケーションに **@redhat/opossum** モジュール をインストールするには、以下のコマンドを入力します。

```
$ npm install @redhat/opossum
```

@redhat/opossum モジュールを使用するには、以下のコードをアプリケーションに追加します。

```
const CircuitBreaker = require('@redhat/opossum')
```

2.4. サポートされているアーキテクチャー

Node.js ビルダーイメージおよび RPM パッケージは利用でき、以下の CPU アーキテクチャーで使用するためにサポートされます。

- AMD x86_64
- PowerPC 64 ビットリトルエンディアン

第3章 リリースコンポーネント

- [RHEL 7 用の Node.js 12 ビルダーイメージ](#)
- [Node.js 12 Universal Base Image 7](#)
- [RHEL 8 の Node.js 12 ビルダーイメージ](#)
- [Node.js 12 Universal Base Image 8](#)
- [Node.js 12 RPM パッケージ](#)

第4章 修正された問題

本リリースでは、Node.js 12.16.1 のコミュニティーリリースのすべての修正された問題が含まれていません。

第5章 既知の問題

本リリースに影響する既知の問題はありません。

第6章 必要なインフラストラクチャーコンポーネントに影響する既知の問題

本リリースでは、インフラストラクチャーコンポーネントに影響する既知の問題はありません。

第7章 本リリースに関連するアドバイザリー

以下のアドバイザリーは、本リリースに含まれる機能拡張、バグ修正、および CVE の修正が文書化されました。

- [RHBA-2020:2173](#)